

2019 年度友愛労働歴史館事業報告

友愛労働歴史館はⅠ 展示会・講演会活動、Ⅱ 資料の収集・管理作業、調査・研究活動、Ⅲ 情報発信・PR 活動などに取り組んでおり、2019 年度中間期の活動は次の通り。

Ⅰ 展示会・講演会活動について

1. 展示会（常設展・企画展）活動

友愛労働歴史館は展示会活動として企画展（年 2 回）と常設展を開催しており、2019 年 4 月から 2020 年 2 月までの見学者は 1086 名、2012 年 8 月 1 日の開館以来の延べ入館者数は 10089 名となっている。

①企画展について

2019 年 1 月 7 日から開催中の企画展「民社党結党 60 年—勤労国民政党的旗を掲げて—」（2018. 1. 7～6. 28）は、6 月 28 日に閉会した。

7 月 4 日からは企画展「協調会結成 100 年—渋沢栄一と鈴木文治・友愛会—」（2019. 7. 4～12. 24）を開催した。2019 年は協調会結成から 100 年に当たり、企画展では友愛会と協調会との関係、協調会を主導した渋沢栄一と友愛会・鈴木文治との関係などに言及しつつ、彼らが共有した「人格の尊重」を浮き彫りにしている。

2020 年 1 月 6 日からは日本のメーデー100 年を記念した企画展「日本のメーデー100 年、自由と団結の旗のもと」（2020. 1. 6～2020. 6. 30）を開催している。

②常設展について

常設展「日本労働運動の 100 年余—友愛会・総同盟（戦前）を中心とする」は、必要なメンテナンスを行いつつ、同一テーマで引き続き通年開催している。

2. 講演会活動

友愛労働歴史館は企画展と連動させた講演会・労働講座を単独で、もしくは労使関係研究協会や友愛会創立を記念する会と共催している。2019 年度は以下の講演会を開催する。

①名 称：友愛会創立記念労働講座（友愛会創立を記念する会と共催）

と き：2019 年 8 月 1 日（火）11：00～11：45

と ころ：友愛労働歴史館・研修室

テ ー マ：「渋沢栄一と鈴木文治・友愛会」

講 師：間宮悠紀雄 友愛労働歴史館事務局長

②名 称：友愛労働歴史館・労使関係研究協会共催講演会

と き：2019 年 11 月 6 日（水）14：00～16：00

と ころ：友愛労働歴史館・研修室

テ ー マ：「渋沢栄一と鈴木文治」

講 師：井上 潤 渋沢史料館館長

Ⅱ 資料の収集・管理作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は年間を通し、資料・管理に取り組んでいる。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいる。

1. 資料の収集・管理

友愛労働歴史館は連合資料室、社会・労働関係資料センター連絡協議会（労働資料協）と連携し、①友愛会から同盟までの民主的労働運動、②社会民衆党から民社党までの民主的社会主義運動、③福澤諭吉や安部磯雄らユニテリアンゆかりの社会運動、に関する資料の収集・管理に取り組んでいる。2019年度は旧民社党関係者、電力総連関係者らから民社党資料や電産資料などの寄贈を受けた。

友愛労働歴史館には今まで個人・団体から寄贈を受けた資料が未整理状態にあり、当館倉庫（友愛会館地下1階、同2階）に保存している。年間を通し、これらの資料の整理作業に取り組んでいる。

2. 調査・研究活動

友愛労働歴史館は常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」、「政治・社会運動史研究会」の二つの常設委員会を設置し、調査・研究を行っている。2019年度は政治・社会運動史研究会を中心に研究会活動を続けており、5月10日と9月11日に開催した。

また、井堀繁雄研究会では梅澤昇平研究員と連携し、井堀繁雄（労働運動家・協同組合活動家・政治家、日本労働会館理事長）が残した手帳のデジタル化作業に取り組んでいる。

<第20回政治・社会運動史研究会>

と き 2019年5月10日（金）15:00～16:30

ところ 友愛労働歴史館研修室

テーマ 「民社党時代を語る」（共通テーマ）

講師 山口 哲雄 元宮崎同盟、元宮崎県議、元米沢隆民社党委員長秘書

<第21回政治・社会運動史研究会>

と き 2019年9月11日（水）15:00～16:30

ところ 友愛労働歴史館研修室

テーマ 「民主社会主義者・中村菊男と学問と実践」

講師 清滝 仁志 駒澤大学法学部教授

Ⅲ 情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館は情報発信・PR活動として、インターネットを活用した情報発信・PR活動の取り組みを行っている。

①メールレポート「友愛労働歴史館たより」を月1回程度、メールアドレス登録者約1250名に発信している。2019年4月はメールレポート第143号を発信し、2020年2月にはメールレポート第153号を発信した。

②友愛労働歴史館ホームページHPでの情報提供・PR活動

当館のホームページHPでは企画展「協調会結成100年」や講演会（11月6日）の案内、時宜にあったニュースの掲載を行っている。例えば8月30日は「友愛会、大日本労働総同盟友愛会に改称し100年、大正8年8月30日」、9月26日は「洞爺丸海難事故で総同盟の菊川忠雄ら死亡」を掲載・紹介。また、2020年2月25日には「社会主義協会（社会民主党の前身）から120年、明治33年2月25日！」を掲載した。ホームページ <http://www.yuairorekishikan.com>

③ツイッター（@yuairekishi1912）の活用によるPR活動

友愛労働歴史館はツイッターによる情報発信・PR活動を行っており、フォロワーによる「リツイート」や「いいね」が徐々に増加し、当歴史館に関する情報が拡散されてきている。

なお、友愛労働歴史館の公式ホームページHPとEメール、ツイッターのQRコードを掲載する。



友愛労働歴史館HPのQRコード(左)、友愛労働歴史館メールアドレスのQRコード(左・中央寄り)、そして友愛労働歴史館ツイッター(右)のQRコードです。

IVその他

①NPO法人働く文化ネットの労働映画鑑賞会(毎月第二火曜日・連合会館)に参加している。

②友愛労働歴史館は、労働運動・社会運動資料のリユースに取り組んでいる労働資料協の活動に参加している。6月22日に東京大学で開かれたデジタルアーカイブ実務セミナーに、安部千恵館員が参加。また、11月12日～13日に開催された社会・労働関係資料センター連絡協議会(労働資料協)2019年度定期総会(大阪府立労働センター)に、安部千恵館員が参加した。

③友愛労働歴史館が所蔵する資料を活用し、民主的労働運動や民主社会主義運動、ユニテリアンゆかりの社会運動に関する研究者の調査・研究に協力している。また、これら資料の閲覧者へ便宜を図っている。

以上